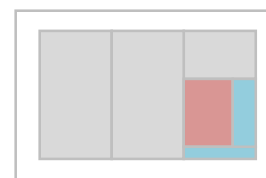


## <2015年度以降入学2年生対象>

### 2S1タームの成績表の見方について



#### (1) 必要単位数・取得単位数・不足単位数

「必要単位数」：進学選択が可能となる条件（必要な単位数）

- 1) 既修外国語・初修外国語（文科生・理科生）それぞれ平均点が40点以上
- 2) 初年次ゼミナール文科又は理科（文科生・理科生）2単位
- 3) 社会科学（文科生）文科一・二類生：4単位  
文科三類生：2単位
- 4) 人文科学（文科生）2単位
- 5) 基礎実験（理科生）3単位（任意選択科目除く）
- 6) 数理科学（理科生）理科一類生：6単位  
理科二・三類生：5単位（任意選択科目除く）
- 7) 物質科学（理科生）  
2015年度入学者：6単位（「力学」の2単位及び「熱力学」又は「化学熱力学」の2単位含む）  
2016年度以降入学者：「力学」2単位、「熱力学」又は「化学熱力学」2単位、「物性化学」2単位
- 8) 生命科学（理科生）  
2015年度入学者（理科二・三類生）：2単位  
2016年度以降入学者（理科一類生）：1単位（「生命科学」1単位の取得）／（理科二・三類生）：2単位
- 9) 総合科目（文科生・理科生）文科一・二類生：11単位（L系列の5単位含む）  
文科三類生：13単位（L系列の5単位含む）  
理科生：8単位（L系列の2単位含む）
- 10) 総取得単位数（2016年度以降入学者）文科生：46単位／理科生：53単位

※ 2S1ターム終了時の「必要単位数」とは、2Aセメスター終了時までに必要な「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」ではありませんので注意してください。

「取得単位数」：科目区分ごとに取得した単位数（「基本平均点」の行における「取得単位数」については後述）

「不足単位数」：必要単位数に対して取得単位数が足りなければ、不足した単位数が表示される

※ 外国語は平均点(40点以上)が条件のため、条件を下回った場合でも不足単位数欄には表示されません。

※ 2S1ターム終了時の「不足単位数」とは、2Aセメスター終了時までに必要な「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」に対して足りない単位数ではありませんので、Aセメスターの履修時に十分注意してください。

#### (2) 基本平均点・各科目区分の平均点

進学選択に向けた参考とするため、進学選択に用いられる評点と同じ計算方法による基本平均点が記載されています。（取得単位数が下表の単位数に満たない場合、不足分の単位数は、不合格科目の場合はその不可点が、履修していない場合は0点が算入されています。この取り扱いは進学選択実施時と同様です。）

	文一	文二	文三	理一	理二	理三
基礎科目						
既修外国語 ※1	5	5	5	5	5	5
初修外国語	6	6	6	6	6	6
情報	2	2	2	2	2	2
身体運動・健康科学実習	2	2	2	2	2	2
初年次ゼミナール文科	2	2	2	—	—	—
社会科学 ※2	8	8	4	—	—	—
人文科学 ※3	4	4	4	—	—	—
基礎実験 ※4	—	—	—	3	3	3
数理科学 ※4	—	—	—	12	10	10
物質科学 ※5	—	—	—	10	10	10
生命科学 ※6	—	—	—	1	4	4
総合科目 ※7 ※8	21	21	25	15	15	15
計（取得単位数欄に記載★）	50	50	50	56	57	57

★「取得単位数」欄に上表の計に記載の単位数が記載されますが、現時点での実際の取得単位数とは異なります。（基本平均点を算出するために用いた、重率1で算入された単位数（上表の単位数）が表示されています）

す。) なお、休学等により上表の計と異なる単位数が記載されている場合があります。

- ※1 英語・日本語以外を既修外国語として履修している場合は、6単位で計算しています。
- ※2 社会科学は、科類の要件を含めて成績上位8単位（文三生は上位4単位）で計算しています。
- ※3 人文科学は、科類の要件を含めて成績上位4単位で計算しています。
- ※4 基礎実験および数理科学は、任意選択科目を除いた単位数で計算しています。
- ※5 総合科目は、文一・二生は成績上位21単位、文三生は上位25単位、理科生は成績上位15単位（いずれも系別の単位取得条件を含む）で計算しています。
- ※6 総合科目D系列「スポーツ・身体運動実習」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ」、「スポーツ・身体運動実習Ⅰ（PEAK）」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ（PEAK）」については、基本平均点に算入されているのは、合わせて2単位までです。
- ※7 基本平均点計算において、重率0.1で計算される科目は、以下の科目です。  
上記以外で1Aセメスターまでに単位取得した基礎科目  
上記以外で1Aセメスターまでに成績が付与された人文科学ゼミナール・自然科学ゼミナール・総合科目（不合格科目を含む）
- ※8 基本平均点計算において重率1で計算した科目の横には「\*」を表示しています。  
（2単位科目のうち1単位のみ算入する場合は科目の横に「#」を表示しています。）

なお、上記の単位のうち、「既修外国語、初修外国語、身体運動・健康科学実習」については、科目区分ごとの平均点が参考に表示されています。

進学選択が可能となるための  
必要単位数・取得単位数・不足単位数

(例 文科一・二類)

科目区分	必要単位数	取得単位数	不足単位数	平均点
基礎科目				
既修外国語				
英語		3		39.80
初修外国語				
フランス語		6		88.33
初年次ゼミナール	2	2		
社会科学	4	8		
人文科学	2	4		
総合科目	11	19		
L系列	5	9		
合計	46	42		
基本平均点		50		56.00

外国語についてのみ、要件である平均40点を下回っても不足単位数には表示されません。この場合は、平均点が40点を下回っているため、進学選択が可能となる条件を満たしていません。平均合格しているか否かについては、2Sセメスター終了時（9月下旬公開予定）の成績の原評価を確認してください。（セメスター毎の平均合格条件も確認すること）

基本平均点計算に使用した単位数および2S1ターム終了時点での進学選択における基本平均点  
（取得単位数は実際の取得単位数とは異なる場合があるので注意してください。）

(例 理科二類)

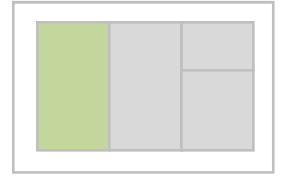
科目区分	必要単位数	取得単位数	不足単位数	平均点
基礎科目		40		
既修外国語				
英語		5		59.00
初修外国語				
スペイン語		6		70.66
初年次ゼミナール	2	2		
自然科学		27		
基礎実験	3	3		
数理科学	10	10		
物質科学	10	10		
生命科学	4	4		
総合科目	8	9		
L系列	2	3		
合計	53	49		

平均合格の条件を満たしていない場合であっても、科目ごとに全体の平均点が50点以上であれば、取得単位数が5単位もしくは6単位と表示されるため、実際に取得している単位数とは異なる場合があります。『履修の手引き』を参照し、平均合格の条件を確認してください。

基本平均点		68		49.95
-------	--	----	--	-------

### (3) 平均合格科目の表示

平均合格科目について、2Sセメスター終了時の成績の原評価（点数）公開以降（9月下旬を予定）に、各自、平均合格を満たしているかを必ず確認すること。（⇒必要に応じて、2Aセメスターで必要な科目の履修をすること）



<平均合格科目とその条件>（次ページ計算例および『履修の手引き』p.41 参照）

※ 既修外国語（英語・日本語）単位数5単位：条件1.かつ条件2.

条件1. 1Sセメスター（1S1ターム・1S2ターム）～1Aセメスター（1A1ターム・1A2ターム）の成績の平均が50点以上

条件2. 1Aセメスター（1A1ターム・1A2ターム）の成績の平均が50点以上

※条件1、条件2のいずれも単位数を加味した加重平均による。（次ページ計算例参照）

※ 既修外国語（英語以外）および初修外国語 単位数6単位：条件3.かつ条件4.かつ条件5.

条件3. 1Sセメスターの成績の平均が40点以上

条件4. 1Aセメスターの成績が40点以上

条件5. 1Sセメスター～1Aセメスターの成績の平均が50点以上

\*なお、既修日本語を初修外国語相当で履修している場合もこの条件で考える。

※ 身体運動・健康科学実習 単位数2単位：（条件）2つの実習の成績の平均が50点以上

<例>

科目	教員	開講期間	単位	成績
既修外国語				
英語			5	可
*英語一列①	×× ××	17.04～17.06		優
*英語一列②	×× ××	17.09～17.11		不可
*英語二列W	×× ××	17.04～17.08		良
*英語二列S	×× ××	17.11～18.01		欠席
初修外国語				
スペイン語			-2	-38
*スペイン語一列①	×× ××	17.04～17.08		可
*スペイン語一列②	×× ××	17.09～18.01		欠席
*スペイン語二列	×× ××	17.04～17.08		可
身体運動・健康科学実習			2	良
*身体運動・健康科学実習	×× ××	2017		良
*身体運動・健康科学実習	×× ××	2017		良

1Sセメスター～1Aセメスターの成績の平均が50点以上でも（既修英語の場合は）1Aセメスターの成績が不合格の場合、2Sもしくは2Aセメスターに必要な科目を「他クラス聴講」により履修しなければいけないので注意すること。  
この場合、5単位「可」と表示されていますが、1Aセメスター科目が50点を下回っているため、**平均合格していません。**  
**【注意！】**

マイナス表示になっている場合、不足単位数と、平均合格に対する不足点を意味します。  
この場合、平均合格に必要な150点（3科目×50点=150点）に対し、38点不足していることを表しています。  
※「英語」は1単位科目と2単位科目（英語二列W）が混ざっているため、平均合格に必要な250点（5単位×50点）に対し何点不足しているかが表示されます。

※マイナス表示になっていない場合（「可」と表示されている場合）でも、平均合格していないケースがあるので留意すること。（上記参照）

平均合格の対象科目は、講義ごとの単位数は表示されません。

(例) 以下のような成績の場合における平均合格の確認

※成績の原評価(点数)公開以降(9月末頃を予定)に必ず確認すること。

必要に応じて次セメスターで必要な科目の履修をすること。

科目	開講期間	単位	成績
英語一列①	17.04~17.05(1S1)	1単位	50点
英語一列②	17.09~17.11(1A1)	1単位	55点
英語二列S	17.06~17.07(1S2)	1単位	60点
英語二列W	17.09~17.01(1A)	2単位	43点

◎条件 1.

1 Sセメスター(1S1ターム・1S2ターム)~1 Aセメスター(1A1ターム・1A2ターム)の成績の平均が50点以上

【計算式】

$$\frac{(50 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (55 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (60 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (43 \text{ 点} \times 2 \text{ 単位})}{1 \text{ 単位} + 1 \text{ 単位} + 1 \text{ 単位} + 2 \text{ 単位}} = 50.2 \text{ 点}$$

◎条件 2.

1 Aセメスター(1A1ターム・1A2ターム)の成績の平均が50点以上

【計算式】

$$\frac{(55 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (43 \text{ 点} \times 2 \text{ 単位})}{1 \text{ 単位} + 2 \text{ 単位}} = 47 \text{ 点}$$

この例の場合、条件1は満たしていても条件2を満たしていないので、平均合格はしていません。